



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月9日
東

上場会社名 鈴与シンワート株式会社 上場取引所
コード番号 9360 URL <http://www.shinwart.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 徳田康行
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 足洗俊之 (TEL) 03-5440-2800
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	11,973	11.2	464	—	500	864.6	331	—
2023年3月期第3四半期	10,763	3.1	29	△64.9	51	△57.3	15	△80.4

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 350百万円(—%) 2023年3月期第3四半期 16百万円(△77.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	113.39	—
2023年3月期第3四半期	5.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	10,116	3,139	31.0
2023年3月期	10,178	3,086	30.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 3,139百万円 2023年3月期 3,086百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	9.7	860	68.5	900	62.6	610	59.9	207.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	3,000,000株	2023年3月期	3,000,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	158,078株	2023年3月期	58,078株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	2,921,922株	2023年3月期3Q	2,941,935株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安の影響によるインバウンド需要の回復や、雇用・所得環境の改善により、引き続き緩やかな回復傾向がみられました。しかし、世界的な金融引き締めに伴う影響や中国経済の動向、中東地域の不安定な情勢などの景気への下振れリスクや、国内の物価高、金融資本市場の変動には先行き十分に注意する必要があります。

一方、当社グループの主力である情報サービス事業では、これまでの新型コロナウイルス感染拡大による事業環境の変化とDXに対する意欲の高まりが国内企業のIT投資を後押しし、ITサービスに対する需要は引き続き堅調に推移していくことが見込まれ、2025中期経営計画の中間期にあたる2024年3月期は、同計画で掲げた経営ビジョン「徹底した現場力の向上による収益構造の改革」を具現化すべく、「1.受注・売上拡大」「2.収益性の改善」「3.「人財力」の強化」のための施策を継続させるとともに積極的な投資を行っております。

また、物流事業においては、基本である「安全・品質」を具体的に実現・継続させることに集中するとともに、業務のデジタル化に引き続き取り組み、収益力の確保と向上を図っております。さらに、社員の働きやすさを追求し、人財の確保・育成のための施策にも注力しております。

サステナビリティ経営の推進に当たっては、鈴与グループの共通理念である「社会との共生」「お客様・取引先との共生」「社員同士、グループ各社の共生」の3つの「共生（ともいき）」を実践していく上で、6つのマテリアリティを定め、社会貢献できる企業グループであり続けるため、企業価値の向上に努めるとともに、持続可能な社会の実現に向け努力しております。

このような状況のもと、当社グループの売上高は119億73百万円（前年同四半期比11.2%増）、売上総利益は収益性の改善と売上高の伸びにより26億16百万円（前年同四半期比35.1%増）と大幅な増益を達成し、営業利益は4億64百万円（前年同四半期は29百万円）、経常利益は5億円（前年同四半期は51百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億31百万円（前年同四半期は15百万円）と、売上をはじめとして全ての段階利益において第3四半期連結累計期間として過去最高となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①情報サービス事業

売上高は、システム開発、人事・給与・就業・会計等の業務を対象としたパッケージソリューションサービスが上半期の好調を維持しながら推移したことに加え、クラウドサービスにおいてデータセンターのサービス料金改定や安全運転支援クラウドサービス「あさレポ」の利用料が順調に増加したことにより、大幅な増収となりました。

以上の結果、売上高は94億70百万円（前年同四半期比13.5%増）となりました。

セグメント利益は、システム開発やパッケージソリューションサービスにおいて、きめ細やかな品質管理や原価管理を推進した効果が高付加価値化、及び生産性の向上へとつながり、売上高の伸長との相乗効果により収益性の改善が進んだこと、更にクラウドサービスにおける増収効果も加わり大幅な増益となりました。

以上の結果、セグメント利益は13億22百万円（前年同四半期比75.2%増）となりました。

②物流事業

売上高は、倉庫事業と陸運事業において、個人消費及びインバウンドの回復等により需要が回復傾向にあり、取扱量が増加したことに加え、港運事業の新規沿岸作業が寄与し増収となりました。

以上の結果、売上高は25億3百万円（前年同四半期比3.4%増）となりました。

セグメント利益は、各事業においてエネルギー価格等のコスト上昇に伴い、昨年度から継続して価格改定を実施したことによる収益性の改善に加え、各事業の取扱量が増加し、倉庫事業における荷役作業の減少をカバーして増益となりました。

以上の結果、セグメント利益は4億80百万円（前年同四半期比12.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1億62百万円減少し、40億46百万円となりました。これは主として、現金及び預金の増加74百万円と受取手形及び売掛金の減少7億63百万円、仕掛品の増加4億62百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1億円増加し、60億69百万円となりました。これは主として、工具、器具及び備品の増加78百万円とソフトウェアの減少80百万円、繰延税金資産の減少94百万円によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて62百万円減少し、101億16百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて6億73百万円減少し、29億36百万円となりました。これは主として、短期借入金の減少3億円、1年内返済予定の長期借入金の減少75百万円、賞与引当金の減少2億52百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて5億57百万円増加し、40億40百万円となりました。これは主として、長期借入金の増加1億86百万円、リース債務の増加3億1百万円によるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて52百万円増加し、31億39百万円となりました。これは主として、利益剰余金の増加2億13百万円、買付による自己株式の増加1億79百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年11月10日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。連結業績予想につきましては、サマリー情報の「3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,252	1,327
受取手形及び売掛金	2,656	1,893
仕掛品	101	563
その他	199	262
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	4,209	4,046
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	664	577
工具、器具及び備品（純額）	287	365
土地	2,472	2,472
その他（純額）	550	786
有形固定資産合計	3,975	4,201
無形固定資産		
ソフトウェア	296	216
のれん	24	19
その他	73	85
無形固定資産合計	394	321
投資その他の資産		
投資有価証券	518	559
繰延税金資産	828	733
その他	272	273
貸倒引当金	△21	△20
投資その他の資産合計	1,598	1,546
固定資産合計	5,968	6,069
資産合計	10,178	10,116

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	844	782
短期借入金	800	500
1年内返済予定の長期借入金	471	396
リース債務	158	155
未払法人税等	125	9
賞与引当金	545	293
受注損失引当金	3	0
その他	661	799
流動負債合計	3,609	2,936
固定負債		
長期借入金	852	1,038
リース債務	331	633
再評価に係る繰延税金負債	171	171
役員退職慰労引当金	23	22
退職給付に係る負債	2,001	2,071
その他	101	103
固定負債合計	3,482	4,040
負債合計	7,091	6,976
純資産の部		
株主資本		
資本金	802	802
資本剰余金	162	162
利益剰余金	1,880	2,093
自己株式	△37	△217
株主資本合計	2,807	2,841
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30	49
土地再評価差額金	248	248
退職給付に係る調整累計額	1	0
その他の包括利益累計額合計	279	298
純資産合計	3,086	3,139
負債純資産合計	10,178	10,116

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	10,763	11,973
売上原価	8,826	9,356
売上総利益	1,936	2,616
販売費及び一般管理費	1,906	2,151
営業利益	29	464
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	7	9
持分法による投資利益	5	13
経営指導料	12	12
受取賃貸料	14	14
その他	10	10
営業外収益合計	51	61
営業外費用		
支払利息	25	21
その他	4	4
営業外費用合計	29	26
経常利益	51	500
特別利益		
固定資産売却益	1	3
特別利益合計	1	3
特別損失		
固定資産除却損	0	-
特別損失合計	0	-
税金等調整前四半期純利益	53	503
法人税等	37	172
四半期純利益	15	331
親会社株主に帰属する四半期純利益	15	331

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	15	331
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	19
退職給付に係る調整額	△0	△0
その他の包括利益合計	0	19
四半期包括利益	16	350
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16	350

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年11月10日の取締役会決議に基づき、自己株式100,000株の取得を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が179百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が217百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	情報サービス 事業	物流事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	8,342	2,421	10,763	—	10,763
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	8,342	2,421	10,763	—	10,763
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	1	3	△3	—
計	8,343	2,423	10,766	△3	10,763
セグメント利益	754	426	1,181	△1,151	29

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,151百万円には、セグメント間取引消去17百万円と各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用△1,164百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	情報サービス 事業	物流事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	9,470	2,503	11,973	—	11,973
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	9,470	2,503	11,973	—	11,973
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	1	3	△3	—
計	9,472	2,504	11,976	△3	11,973
セグメント利益	1,322	480	1,802	△1,338	464

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,338百万円には、セグメント間取引消去18百万円と各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用△1,351百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。